

## 9月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和4年9月5日(月)

午前9時30分～

地域交流センター第2研修室

出席委員 職務代理 市ノ瀬淳一 委員 小山正文  
委員 宮下温子 委員 小松小百合  
出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 佐々木英明  
筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明  
次長 臼井太津男 子育て支援コーディネーター 高野智弘  
主事 龍頭詩織

### 一 開会(臼井教育次長)

定刻となりました。令和4年9月の麻績村教育委員会定例会を始めます。  
よろしく願いいたします。

### 二 教育長挨拶(加瀬教育長)

### 三 報告

臼井次長: それでは、報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

#### 1. 教育長報告

教育長: お願いします(以下、資料に沿って説明)。

臼井次長: ありがとうございます。只今の教育長報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは、続いて子育て支援コーディネーターお願いいたします。

#### 2. 学校長・保育園長報告

##### 1) 子育て支援コーディネーター報告(高野CO)

高野CO: よろしく願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

臼井次長: 只今の子育て支援コーディネーター報告についてご意見等ございましたらお願いします。

小松委員: 給湯器みたいなものは付けられないんですか。

**白井次長:**給湯器は下の事務室のところにありますが、非常に小さいのでそれだけで足りないのでは上から引いてきています。施設的な部分があるので、なかなかそこに給湯器を付けることは厳しい状況です。

**小松委員:**保育園のシャワーは温水でしたか。

**塚原園長:**温水です。プールはプールで給湯器があります。部屋の前の足洗い場は2か所お湯が出るようになっています。特に給湯器を付けている訳ではなくて、最初から管で繋がっているのです、外での使用はできます。今年に限っては、プールにおいては朝のうちに水を入れれば未満児さんもお湯足さなくても大丈夫な状況だったんですけど、プールから上がる時のシャワーのところで問題があります。バケツにお湯を汲んでいってかけることはできますが、人数がどのくらいいるかによります。

**高野CO:**平日は大体5、6組の親子なので量は大了ることなくて、タライとかバケツにお湯を溜めておいて、最後にかけて終わりにしています。

**塚原園長:**小さいお子さんなのでシャワーとかはすごく嫌がるので、簡易のもので、綺麗なお湯を用意して持っていけば良いと思います。

**小松委員:**工夫していけば良いですね。

**塚原園長:**工夫していけば、でもあればそれに越したことはないですよ。

**白井次長:**あればそれに越したことはないんですけど、そもそも今の「ひだまり広場」の部分がもともとそういう形で、ということで配置されている訳ではないので、今後施設整備を含めて将来的に考えていく中での話かなと思います。今は例えば朝の7時半くらいにはかなり気温が上がってくるので、職員が来た時にある程度水を溜めておいてそこそこ水温を上げておいて、後は追加で上からお湯を持ってきて、という対処の仕方です。ハード的な施設設備になるとなかなか厳しい状況があります。

**小松委員:**ありがとうございます。

**白井次長:**他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは続いて保育園長報告に移ります。保育園長お願いいたします。

## 2) 保育園長報告(塚原園長先生)

**塚原園長:**よろしくお願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:**只今の保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは続いて小学校長報告に移ります。小学校長お願いいたします。

## 3) 小学校長報告(佐々木校長先生)

**佐々木校長:**よろしくお願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 只今の小学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

**小松委員:** 7月9日のPTA座談会に初めて出させていただいたんですが、ありがとうございました。ワールドカフェ方式での懇談会はすごく良いなと思いました。短時間ではありましたが色々な保護者さんの生の声がいっぱい拾えて良かったです。校長先生がおっしゃったように保護者さん皆さん参加していただきたいなと思いました。PTA座談会の中で自主学習についてのグループに参加させていただいたんですが、「何して良いかわからない」という声が結構あって、「ああそうなのか」と感じました。先程校長先生がおっしゃっていた「夢を持たせるにはどういう風にしていったら良いか」ということについてですが、夢を持たせるのは大事ですがそれ以前に「自分の好きなこと」とか「自分の得意なこと」とか、そういうところがしっかりあれば夢を持つことにも繋がっていくかなと思います。なので、小学校だけではなく日頃から、小さいうちから「自分の得意なこと、好きなことってこういうことだ」ということを持たせるような子育てをしていけたらと思います。

**白井次長:** 他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは続いて中学校長報告に移ります。中学校長お願いいたします。

#### 4) 中学校長報告(白井校長先生)

**白井校長:** よろしくをお願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** 只今の中学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは、協議事項に移ります。

### 四 報告・協議事項(加瀬教育長)

#### (1) 新型コロナウイルス感染症の状況と対応について

**教育長:** それではお願いいたします。今報告の中でも若干出ていましたが、新型コロナウイルス感染症の状況と対応について、今後の行事あるいは学校生活等に関して気になっていること等をお出しいただければと思います。個別のことに関しては後で必要あれば報告していただくようにしたいと思います。よろしく申し上げます。保育園はどうでしょうか。

**塚原園長:** 今のところ感染対策は変わらずやっております。保護者や外部の方に来ていただくときには、検温と手指消毒を徹底してやっております。行事に関しては特に制限することなくやれる方向で、内容は変えていますが行っている状況です。今、未就園児さんは人数が少なくなってきていて、園開放を行っても大体3~4名くらいのお子さんしか来ません。要は1、2歳児さ

んがもう 80% 入園してしまっているのです、そういった関係ですごく少ないのでできるかなというところがあります。園児については引き続き発熱、風邪症状があった場合には医療機関に掛かってお医者さんの指示に従っていただくように徹底していますので、今のところは問題ないです。

**教 育 長:**ありがとうございます。先程もお話がありましたけど、9月17日の運動会に関しては「来賓なし」ということですので、大変申し訳ありませんがそんな事情でありますのでよろしく願います。小学校はどうでしょうか。

**佐々木校長:**「麻績も掛かるんだな」というのが実際感じたことです。夏休み中に何人か出て、職員2名罹患がありましたが、児童は全校の15%が罹患しています。たぶん塩筑の中で、そのくらいの割合でどこも同じくらいではないかなと、例外はないということがわかりました。ここに来ていくつかあるのは後遺症です。もう自宅療養期間は過ぎていますが咳がひどくてなかなか収まらない。後遺症だろうと言われていたがやはりお家の方も慎重にしてくださいっているので休んでもらったりしています。お医者さんが「後遺症です」と言われれば、咳があってもそれは大丈夫ということなので、登校は認めていこうと思っています。いずれも本校の場合は、基本的には体調不良の場合でもお医者さんが「風邪だね」と言ってくれば、症状が回復すれば登校してくるようにしているので、後遺症の対応についても同じような形で、基本的にはお家の方と相談をしていきたいなと思っています。職員についても児童についてもやはり「咳が抜けない」ということで、ニュースでも「1か月程度続くケースが多い」というようなことが言われているので、そこがちょっと心配なところですね。あとは、夏休み明け1週間は給食の時間は簡易のパーテーションを1人ずつ立てて食べるということで、本校で考えている感染対策の1番厳しい状態を取りました。先週からは、夏休み前の通常の状態に戻しながらやれることは全てやっていくということで、金管の練習や音楽での歌唱等も普通に授業でやっている状況です。今後もこの方向で行って、国の対応がまた出れば厳しくします。それと、本校で罹患者が出たときには念のためまた1番厳しい対応に戻します。そこを切り替えながら運営していきたいと思っています。

**教 育 長:**ありがとうございます。児童の15%と聞くと「そんなに罹患したのか」と思いますが、ここまでのところは夏休み期間中だったので、学級内で広がることが実際なかった訳ですが、ここからは本当に気を付けていかないといけないと思います。今、方向として罹患者が1名出ても学級閉鎖はしません。複数名出た場合にそういった方向で対応するというので進めたいと思います。1番気を付けていかなければならないのは、先程もありましたが後遺症等で咳が出ていることです。今までだと「風邪症状があれば休んでください」と言ってきた訳ですが、それをしてしまうと学校に出て来られなくなってしまうので、基本的にお医者さんの判断に従うとい

う形で今お願いをしているところです。そのようなことをご理解いただいて、症状があってもお医者さんが「大丈夫」だということであれば登校してもらって構わないということで、しかしそれに関してもあくまでも強制ができなくてお願いになるので、そこら辺のところはそれぞれのご家庭の判断にお任せするところですが、呼びかけ程度で進めているという状況をご承知おきください。よろしく申し上げます。中学校はどうでしょうか。

**白井校長:** 佐々木校長先生がお話していた通りですが、うちも「0では終わらなかったな」というところです。夏休みに入ってからなのでそれほど大きな対応はなかったんですが、7月下旬に1名、8月に入って3名、あと職員が1名です。子どもは全て家庭内感染だったので、職員は勤務がありましたあまり接触がなかったので、休みが明けてからの対応はしませんでした。子どもたちについては、「しっかりと家で健康観察をしてほしい」ということをお願いをして毎朝チェックをしています。今の段階は、具合が悪くなったらすぐに家に帰しています。熱とか「気持ち悪い」というのについては、全て。それと小学校、保育園とかと連動してしまう兄弟姉妹の場合には登校を控えていただくようになっています。家庭内から持ち込まないための対策です。職員については、アルコール消毒等とても丁寧にやっているんですが、やはり体力が落ちてちょうど疲れているような時かと思うので、子どもたちにも伝えましたが、免疫とかそういう体力等については感染症対策の前提になると思うので、ご飯をしっかり食べること等が大事ななと思います。夏休み明けの対応について、給食は今週いっぱいランチルームで全校で食べるということは止めました。ランチルームは1、2年生と3年生の一部、それと3年生の大部分は家庭科室で食べるということで今週いっぱい様子を見て、特に問題がなければ来週からランチルームで全校でという流れで行こうかなと考えています。行事については、筑北祭は、一部の方には来賓として通知を出させていただきました。保護者についても人数を限ってお越しいただく予定です。修学旅行は、現時点では行く方向で考えています。職場体験も、断られなければ行こうと考えています。修学旅行に行くにあたって「健康管理をしっかりしなさい」という指導を徹底していきたいです。

**教 育 長:** ありがとうございます。基本的に保育園、小学校、中学校共に、できる限り行事に関して中止ではなく、感染対策をしながら実施をしていただく方向でお願いをしているところです。委員さんの方から何かお聞きしたいことやご意見等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。もしあればまた後でお願いします。それでは、次に移ります。

## (2) 全国学力・学習状況等調査の分析について

**教 育 長:**先程も出ましたが全国学力・学習状況等調査の分析について、今後しっかりと分析をしていかなければいけない訳ではありますが、現状のところ傾向や校長先生の思われているところ等をご発表いただければと思います。小学校からお願いします。

**佐々木校長:**国語は、全国と県と比較して、ほぼ平均です。算数は、有意差がある、低い状態です。割合ですので、受験児童 12 名だと 1、2 名の値がその差を生んでいるので、それを学校の傾向として捉えるのはたぶん意味はないだろうと思っています。逆に個で見えていったときは、算数については予想された通りの結果が出ている。学校の中でも大事に支援をしているお子さんがなかなか難しいということです。特に傾向として出ているのは、記述式回答の無答率が高い。やはり自分で考えて自分の考えを伝えていくところが、算数の言葉を使って記述するのが難しい。国語については自分の思いとか素直に書けるが、という感じだと思っています。あと質問紙の方がやはり先程出てきた「夢」というところが昨年同様あまり高くなかったかなと思います。村でも「夢先生」の事業をずっとやってきてくださっている訳ですが、なかなか子どもたちは将来の夢とかそういうのははっきり持てないとか、明るい未来を想像できない様子が見られました。昨年と同じ傾向があるんですが、「自分に自信があるか」という質問があったんですが、今年も低いです。これはなぜだろうというのが、これが村の中に生まれ育ってきている少数の中で、もう「自分はこんな感じ」みたいな風に位置を決めてしまうところがあるのかなと思いました。私から見れば「自信がない」と回答しているお子さん何人か見た時に「こんな良い所があるのにな、なぜそれが自信にならないのかな」と感じました。子どもたちが自覚できるようにする支援等を、ましては少人数の村の中での環境があるとどうやっていけばいいのかと思いました。たまたま先週金曜日に小学校長会があって同じような傾向を発表された先生がいて、環境、人数規模も同じなんですよね、少し小さいくらいだったんですけど。やはりそういう環境的な部分が「自信のなさ」等に繋がっているのかなと少し思い、それがとても気になりました。あと中学に出ていった部分で見ると、ゲームの時間等が、中学になると改善していました。麻績小の場合は、昨年もそうでしたが、ゲームの時間は長く、家庭学習の時間は短い。これは今年も共通している部分だと思います。これも家庭との連携を考えながら話をしていくところですが、家庭生活全体を変えていかなきゃいけないということになるので、なかなか思うようにいかない部分があると思います。

**教 育 長:**ありがとうございます。中学校お願いいたします。

**白井校長:**先程の資料を見ていただいて、まだしっかりと分析はできていないのです

が、資料を見ながら進めたいと思います。各教科の正答率については、全国の正答率と比較して、国語はやや下回り、数学は下回り、理科はほぼ同じでした。実施人数について、この時全体 24 名のうち体調不良の児童が 7 名近く休んでいましたので、1 人の正答によって大きく変わりますので、正答率についてはこんな感じだと捉えたいと思います。質問紙の回答状況について、先程佐々木校長先生からもお話がありましたが、生活に関わることについては、朝食はたくさん食べていて、やはりゲームの時間が長いというところが出てきました。自分や集団に関わることについては、私も驚いたのですが「自分には良いところがありますか」の設問に対し 9 割の生徒が肯定的でした。去年はちょっと心配だと思ってお話したところですが、9 割ということなので、そこでは自信が持てたんだろうなと思います。「いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか」の設問に対してほとんどの生徒が肯定的に思っていました。「学校に行くのは楽しいですか」の設問に対しては、100%ではないですがほとんどの生徒が肯定的な回答をしており、全国平均よりも高いので良かったと思います。「自分でやると決めたことはやり遂げる」の設問に対して 9 割の生徒が肯定的な回答をしており、高い傾向があれば良いかなと思います。「将来の夢や目標を持っていますか」の設問に対しても 9 割の生徒が肯定的な回答をしているので、生徒たちの良いところがぼちぼち出てきているかなということが見られて良かったと思います。

**教育長:** ありがとうございます。委員の皆様から何かございますでしょうか。また具体的に分析はしていただきますが、傾向としてはこのような感じですが、人数が本当に少ないので、平均で考えるのは全く意味がないかなと思いますが、質問紙の方で出てきている点に関して丁寧に扱っていただければと思います。いかがでしょうか。

**白井校長:** 将来の夢については、当然小学校と中学校では違うとは思いますが、教員が興味を持ったこととかを色々な話をしてもらえたら良いのかなと思います。今回私は夏休みに善光寺街道を少し歩いたので、子どもたちに写真を見せて「この場所どこ」って質問してみました。自分が思っていることを教員が語っていくことが大事かなと私は思います。あと、将来の夢についてというような固い話ではなく大したことない話でも、家の中でどれだけお家の方と子どもがコミュニケーションが図れているかどうかは疑問があり、もっとできれば良いのかなと思っています。学校としてはそんなにやらなくても良くて、子どもたちが色々なことに興味関心を持つようになるために、自分の良いところだとか面白いことは何だとか、あそこの山には何があるとか、そういったコミュニケーションがあると良いのかなと思います。重要なのは日常的なところかなと思います。

**教育長:** ありがとうございます。他いかがでしょうか。

**市ノ瀬職務代理:** 去年も本当に気になっていた先程の自己肯定感というか自信が持てないことについて、中学の方ではだいぶ「自分には良いところがある」と思える子が9割近くいるということで、安心してきました。小学校で行ったPTA座談会の時にも言いましたが、やっぱり自信が持てるようにするには親の関わりが本当に大きい訳ですが、一緒に何か活動する中でとにかく褒められるところは徹底して褒めることしかないのかなと思います。ともすると、指示を出してできなければ叱るという繰り返しをやっていくと、子どもたち自分で先を考えてやろうというところがどんどん失せていっちゃうかなと思います。だから親御さんへの啓蒙と言いますか、PTAの折等でその都度お話していただければありがたいかなと思います。

**教育長:** ありがとうございます。他いかがでしょうか。

**小松委員:** やはり仰られたように、コミュニケーションとか褒められ体験とかすごく大事なことだと思います。それと同時に色々な体験を積んでいくということはすごく重要で、特に自然に関わっての体験は豊かなものを学ぶことができると思います。なので、とにかく色々な経験をして褒められて認めてもらってということをとくさんしていければと思います。

**教育長:** ありがとうございます。他いかがでしょうか。

**宮下委員:** 2学期色々な活動をする中で、中学2年生の職場体験が今度あると思うんですが、家庭で我が子を褒めることってすごく難しく、やはり嫌な点をつまみ出して話をしてしまうことが多いと思うんですけど、そういう場所で認めてもらったり、地域の方にそれで声を掛けてもらったりして、自分に気付くではないけど、友だちの意見も見たりという色々な刺激の中で感じることはあると思うので、職場体験は良いきっかけになるんじゃないかと見る度に思っているんで、私もすごく褒めるし、「すごい、そんなことできるんだね」と感じたことを伝えるようにしているので、ぜひ張り切って来ていただきたいなと思っています。

**教育長:** ありがとうございます。他いかがでしょうか。

**小山委員:** 将来の夢の持ち方について、同級生が少ないというのもあるかもしれないんですが、同級生が多ければ歌が上手い子とか足が速い子とかそういう形もあるかもしれませんが、どうしても児童生徒数が少ないというマイナスはあるかなと思いますが、それを今はネットとかを上手く利用しながらやってもらえれば良いのかなと思います。それと気になるのは中学校の質問紙の回答状況の中で新聞を読んでいない子が8割とあるのですが、新聞を取っていない家庭が相当あるということで、いつか中学校の西澤先生がそんな話をしていたんですが、習字の時に「下書き用の新聞を持ってこい」と言っても家で取っていない子が多いから、持って来られないから学校で用意するという話もありますが、確かに信濃毎日新聞となると、忘れましたが大体毎月4,000円くらいいくのかな、結構な額になるとは思うんです



けど、ただ今の信濃毎日新聞は色んなニュース、紙面があって色々体験が出ていたりカラー写真が出ていたりして、そういうのを斜め読みすれば若干自分の興味持つことも出るのかなという気がします。好きこそもの上手なれではないが、好きだったら興味持って上手になってということが出てくるのではないかと思います。鶏が先か卵が先かみたいな話にはなってしまいますが。新聞結構良いなと思うんですけどね。

**佐々木校長:**小学校も、家庭では新聞をもう取っていないのではという気がします。

**教育長:**今インターネットのニュースで何でも見られるから、そういう人は多いのかな。

**佐々木校長:**新聞について、たかが10人ちょっとの家庭の状況だから何とも言えないですけど、こんなに多いのかと思いました。

**白井校長:**色々なこと知らないよね。テレビも観ているんですかね。ニュース見ろという訳ではないが、新聞をめくってみたら良いと思います。色々なものを見ていないと言うか、興味あるところだけ掘り下げているような感じもするので、色々なことに目を向けさせるのは学校の役割かなと思います。

**教育長:**そういう種を撒いてやることは大事かもしれないが、やはり家庭ではないかと思っています。

**白井校長:**別にウクライナのことや円高について議論はしなくて良いんだが、物価が高いとか言えば少し子どもが興味を持ってそうと言うか、そういう会話か何かができれば良いのかなと思います。

**佐々木校長:**朝の活動で、読書ではなくて新聞をインターネットで読もう、みたいな活動が入れるのかな。小学生は余計にですが、時事ネタみたいな話題はそうは出てこないです。

**市ノ瀬職務代理:**昔担任している頃、朝学活で「当番の子がその日の朝のニュースで1つ気になったものを発表する」というのをやったことがありました。何とか目を向けさせていきたいです。

**教育長:**ありがとうございます。中学校で自己肯定感が高くなっているというのは非常にありがたいなと思います。小学校と比較してみると、中学校の方は「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の設問に対し全生徒が肯定的に回答をしていましたが、1人の生徒に関わる先生が多いことが要因の1つかと思います。小学校はどうしても担任ということになってしまうので、小学校の方でも今進められている教科担任制だとか、色々な人に関わるという方向へ進めているので、そこまではいかないにしても色々な先生が関わってくれるというようなところが要因の1つかと思いました。あとはタブレットでニュースを見るというようなことは学校でできるのかな。

**白井校長:**今割と自由に使っているので、先生たちにちょっと投げかけてみます。タブレットで自分が気になることに対してどんどん調べていくような子ども

たちを育てれば良いとは思いますが、ネットの中で何を見ているかというところまでは把握していないので、ちょっと確認してみようと思います。ニュースを見ていればすごいなと思いますが、見てないかもしれないな。

**教 育 長:** 本当は新聞の文章が非常に良いのだが、そこも1つの方法かなと思います。

**佐々木校長:** 学校でインターネット購読をすれば自由に見られるんですかね。

**教 育 長:** 実際にはさわりのところとヤフーニュースみたいなものしか見られないもんね。

**佐々木校長:** 見られるようになっていけば良いなと思います。小学校も信濃毎日新聞と市民タイムスは取っているんですが、職員室で結局開くのが私と教頭とあと数人で、それも見るのはお悔やみ欄とかです。誰でもぱっと見たいとか、それを写して授業とかで先生が紹介するなどできるようになれば良いなと思うんですが、たぶん今のままだとダメですよ。たぶん購読契約などがあるって、それも教育理由で良いのかちょっと調べていないんですが。

**白井校長:** 前の学校のときは、教頭さんが NIE (Newspaper in Education) の委員をやる人だったので、全部の会社の新聞が送られてきて、玄関のところに幾つか貼っておくのと、オリンピックがあったのかなその時、小平さんの時で、それからずっと気になる紙面を壁に貼り出して、それを子どもたちが見ていました。そういう風にこっちから意図的に貼ったりしていかなきゃいけないのかなと思っています。でもそれも手間だから、好きな人だったら良いけど。

**教 育 長:** それについても色々な角度から考えていきましょう。ありがとうございます。学力調査等について何か他にございますでしょうか。また学校の方でそれぞれ先生方英知を結集していただいて、分析をしながら今後活かしていく方向性を出していただけるとありがたいと思います。よろしく願います。それでは次に移ります。

### (3) 部活動の地域移行について (小学生も含んでの検討)

**教 育 長:** 事務局から願います。

**白井次長:** 願います。

・ 地域運動部活動推進事業補助金

→ 第 3 号補正対応済

歳入 80 万円

歳出 地域指導員謝礼 68 万円

大会等費用弁償 2.5 万円

事務局消耗品 2 万円

大会等車両借上料 7.5 万円

今後、教育委員会・学校・社会体育で指導していただいている方等で細かな部会を開き、全体的な組織をどうしていくか検討予定です。地域移行されたことにより、今年については部活が大きく変わるということではないです。変わるとすれば、今まで社会体育等でやっていた指導員の方については、ほぼ半分くらいボランティアでやっていたので、そこに対して報酬が出るのが大きな変化です。個別でやっている方、種目については、今後どういう形がまとめていくのに良いのか考えていかなければならないという課題がありあます。今バスケットボールは一生懸命やっていたいて、ほぼ社会体育という形で小学校のジュニアから中学校の部活という形で移行しているが、バスケットボールは本気でやっている方々が参加されているので、そうでない子どもたちが入ることができるような部活、昔あった総合運動部や今もある芸術部などの二極路線も良いのではないかと思います。運動や芸術に親しむ機会が減ってきていると感じています。自分の好きなことだけやっていくのが良いとなってしまうのは避けたいと思います。部活動地域移行は2025年度までに土日の部活を地域移行していく、最終的には中学校の部活自体がなくなっていくことを踏まえれば、できるものについては最初から休日だけではなく平日も含め地域移行していくことが麻績村のモデルになるのではと考えています。そのためには中心的な組織がしっかりしなければならない、それをコーディネートする方も必要だと思います。地域移行については、この間信濃毎日新聞でも文部科学省で80億予算を要求したという記事が載っていたが、地域移行に対するコーディネーターの予算も含まれています。実際今一番必要になってきている、各市町村で考えているのは各指導員の謝礼等をどう財源化していくかだが、まだ見通しができていません。探りながら進めていく予定です。

・ 議会 9月定例会 一般質問内容について

→ 議員 7名 全員 一般質問あり、うち 5名 教育委員会関係の質問あり

5番目 1番 飯森茂孝議員

2. 子ども・子育て支援について

1. 中学生の地域部活動推進事業の考えについて

2. JR 聖高原駅から通学する高校生等への通学補助事業の考えについて

6番目 2番 塚原利彦議員

1. 中学校部活動の地域移行について

1. 制度の概要とメリット・デメリットは。また、麻績村教育委員会としてこの地域移行化をどう受け止めているのか

2. 今回筑北中が「拠点校」となった理由と具体的に行う実務は
3. この部活動地域移行化について、保護者や生徒への説明・周知はされたのか。またこれに関する不安や要望の声などは
4. 近隣の中学校、特に聖南中学校との間ではこれについてどんな形で進めていく方針なのか

地域移行についてはその都度議員さんに説明しています。従前、中学の部活動は学校統合の大きな議論の1つでした。現況と今後の進め方等含め議会での答弁をする予定です。

**教育長:** 今説明をいただきましたが、実際のところ今年度の5月下旬ようやく県のスポーツ課から概要について説明を受け、7月によりやく予算がついたので、実施は今後になります。中学校の方で部会の委員を決めていただき出していただきました。これから教育委員会と、筑北村もできれば含めて一緒に検討し具体的な計画を立てます。実施にあたっては、次年度からとなりますが、冒頭にも話をした通りそれにあたって現中学校1、2年生の生徒・保護者への説明、それから来年度のことを考えると6年生への説明というようなことを経て進めていきたいと考えております。実際にはいくつか課題をクリアしなければならない部分があり、部活から離してしまうと、簡単に言うと中学校下校後それぞれで集まってということになるので、中学校を会場にさせていただければそこで引き続きということも考えられますが、地域でということになると体育館や総合グラウンド場等を含めて色々なところで活動することも考えられるので、活動時間が後ろへ来てしまったり、状況によっては地域の指導者だとお仕事終わってからでないと指導できないということもあって夜の活動になったりというようなことが考えられる。また、広域でということになると、通常平日委と一緒に活動することはなかなか難しいという部分もあり、克服しなければ課題がありますので、部活動改革作業部会の方で色々な検討をしながら今年度準備の段階というような方向で進めていかれればと思っているところです。そのようなところを含んでご意見等ありましたらいただければと思いますがいかがでしょうか。

**市ノ瀬職務代理:** どの種目とはっきり決めないで、体育系のことを何かやりたいという子がぼつぼつというと思う。例えばバドミントンならそれ専門で教えてもらって、それだけで集まるという訳にはいかないと思う。「バドミントンやりたい」「卓球やりたい」というバラバラな子たち向けに体育系の同好会的なものに指導者が1、2人付いてもらって、どこか場所を借りてやるということも考える必要があるのではないかと思う。

**教育長:** 中学校の方でも色々な意見が出てきていて、例えば種目に特化するものもあるし、季節によっていろいろな種目を変えて行っていくというようなものであったり、単独や1、2人でもできるものあるいは集団でないとか

きないもの等、色々それぞれのニーズに応じて取り混ぜていくような方向も必要だろうということで、先程臼井校長先生からもお話がありましたが、総合部活というような方向も必要であると、そののところも含めて、あるいは中学生だけということではなくて大人から子供まで幅広い年齢層でやるということもあるかと思しますので、作業部会の方で色々検討して進めていければと思っています。臼井校長先生何かありますでしょうか。

**臼井校長:**色々言い出せば広くなってしまうと思うんですが、この前日曜日少し小学校のところを散歩していたら、かちんかちん音がしているから誰がやっているのかなと思ったら、中学校の卒業生とその兄弟の小学生だと聞いたんですが、7~9人くらいでお父さん、三浦さんかな、がピッチャーやってノックやって草野球をやっているんですよね。そういうイメージで、高校行っても部活はできないんだが、そういうところで一緒になってやりたい子とか、例えばバドミントンとか色々あるじゃないですか、そういう中で今教育長さんが今仰ったように、小学生も含めて、中学生だけで聖南や生坂とで、この年代で何とかしようとするのではなく、広い年齢層で形を考えていった方が麻績村としては整うのではないかと思います。中体連に出るのであれば、その年代が集まってその部分だけでどこかと組んでやるとかで良いのかなと思います。例えば「麻績野球クラブ」みたいなものがあったら、いっぱい所属者がいて2、30人集まって練習して、その中で中体連に出る年代もいるというようなのも面白いと思います。この前テレビを見ていたら、ある村はスマホ所持率を100%にしたいということで、スマホにアプリを入れてもらって、歩くとポイントが付いて地域通貨に繋がるというようなもので、年配の方も歩いて全体的に健康、医療費の縮減に繋がるといいうところがありました。言い出すときりがなくなってしまうんですが、そういう自分たちくらいのおじさんも一緒になって活動できれば全体的な健康にもつながるかなと思います。今年の段階は、とにかく部活を中学校から外に出すというところだと思うんですが、将来的なことも少し話しながらできると良いと思います。

**教 育 長:**ありがとうございます。これで作業部会で色々な意見が出てくると思しますので、お気づきの点ありましたら次長にお伝えいただいて検討課題としていきたいと思っています。よろしくお願いします。部活動の地域移行に関してよろしいでしょうか。ありがとうございました。それではその他に移ります。

## 五 その他

### 1) 各委員から

**教 育 長:**委員の皆様からもしあればお出しいただきたいと思いますが、市ノ瀬職務代理からお願いいたします。

**市ノ瀬職務代理:**コロナがこれで落ち着いて減少傾向に入ったような感じですが、これで減っていったくれば少しは学校の心配が減るかなと思います。

**教 育 長:**ありがとうございます。

**宮下委員:**保小中子どもたちが無事2学期スタートできているようで安心しています。家でもしっかり健康観察、特に朝ごはん気を付けていきたいと感じています。蜂が出た場所にバリケードが設置されていて、対応していただいていると思うんですが、駆除はしてもらえますか。

**白井次長:**私から説明させていただきます。先週木曜日に小学校の校長先生からご連絡をいただいて、「蜂の巣は外に出ているものではなくて、家のガスボイラーの給湯管の隙間から蜂が出入りしていて、実際にどこに巣があるかはわからない」ということで、しかも家が個人のお宅ということもありまして、村の総務課にも一緒に行ってもらって個人の方の本町にある別のお宅に行きまして、そこで「できれば駆除をお願いします」とお願いをしました。ちょうどその時に派出所の平野駐在所長もいらっしゃったので、警察事案ではないですけど説明をさせていただいたら、すぐ対応していただいたようで、実際には隙間のところから薬剤を入れてその隙間を埋めるという対応を取っていただいたということで警察から連絡が来ました。バリケードも撤去した方が良いかと聞いたら、まだ帰ってくる蜂がいるので、先週の話で今週いっぱいには設置したままにするということになりました。今日の蜂が活発な夕方あたりに見に行くと、特に目立ったことがなければ撤去しようと思います。今回は家の持ち主の方が近くにいらっしゃり、すぐに対応していただいたので非常に良かったのですが、個人の家なのでなかなかこちらを手を付けられないので、少し難しい事案だと思いましたが、結果的には良い結果になったと思います。

**宮下委員:**ピアノ教室がそばにあったり、保育園児で歩いて行く子は少ないかもしれないが、本町から歩く場合は通過したい場所ではあるので、配管と言うと下側ですよ、子どもの目線あたりなのですごく心配していたので、様子が聞いて良かったです。ありがとうございます。

**白井次長:**小学校の方でもすぐ通学路の変更ということでオクレンジャーを出していただいたので、非常にありがたかったです。

**教 育 長:**ありがとうございます。

**小松委員:**8月24日に教育長さんと一緒に新任教育委員の研修会に出ささせていただきました。大変勉強になりました。その中で信州大学の荒井先生から学校の先生の働き方について、前々から先生方の労働が大変だということを知ってはいたんですが、今回荒井先生の方から「学校の先生方の負担、働き方を十分考えてください」というお話がありました。

特に「教頭先生はすごい大変で過労死レベルではないか」ということ、「新任の先生はこんなご時世だが教師になろうとして頑張ってくれているので、温かく見守ってください」というようなことを切々と仰っていたので報告しなければと思いました。

**教育長:**先程も出しましたが、働き方改革というような状況で校長先生中心にそれぞれ取り組んでくれているかと思いますが、「このところはどうしたら良いか」というのは遠慮なく相談していただいて、取り組んでいきたいと思えます。よろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは、事務局から連絡事項をお願いします。

## 2) 事務局から

**白井次長:**お願いします。

- ・教育委員の視察研修について
  - 時期未定、また計画し連絡予定
- ・市町村教育委員会研修総会について
  - 10月21日佐久市で集合して実施予定
  - 移動は公用車
  - 午後の分科会については希望等あればご連絡ください
- ・天然記念物ニホンカモシカの対応について
  - 8月24日(水)頃
  - 「聖高原でニホンカモシカが非常に弱っている」連絡あり
  - 8月29日(月)
  - 「ニホンカモシカが死んでいる」連絡あり
  - ニホンカモシカは特別天然記念物なので、死んでいる場合は教育委員会で個体調査をして、必要であれば体の一部を残しあとは埋葬する
  - 場所は聖高原のすずらん湖の周辺の道際で、別荘の方が第一発見
  - 「腐敗しているため早めに対処を」ということで、私と龍頭と観光課職員で向かい、振興課職員が途中で手助けしてくれた
  - 長さ大きさ等個体調査をし、埋葬した
  - 長野県教育委員会を經由して文化庁まで特別天然記念物の滅失届を提出することになっている
  - 小動物は住民課、獣は振興課、ニホンカモシカは教育委員会対応

**白井次長:**事務局からは以上です。

**教育長:**ありがとうございました。それでは次回の日程に移ります。

次回の定例教育委員会の日程 10月4日(火) 午前9:30～

**教 育 長:**全体を通して何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

**六 閉会（加瀬教育長）**

長時間にわたり、ありがとうございました。以上で 9 月の麻績村教育委員会定例会を閉会します。